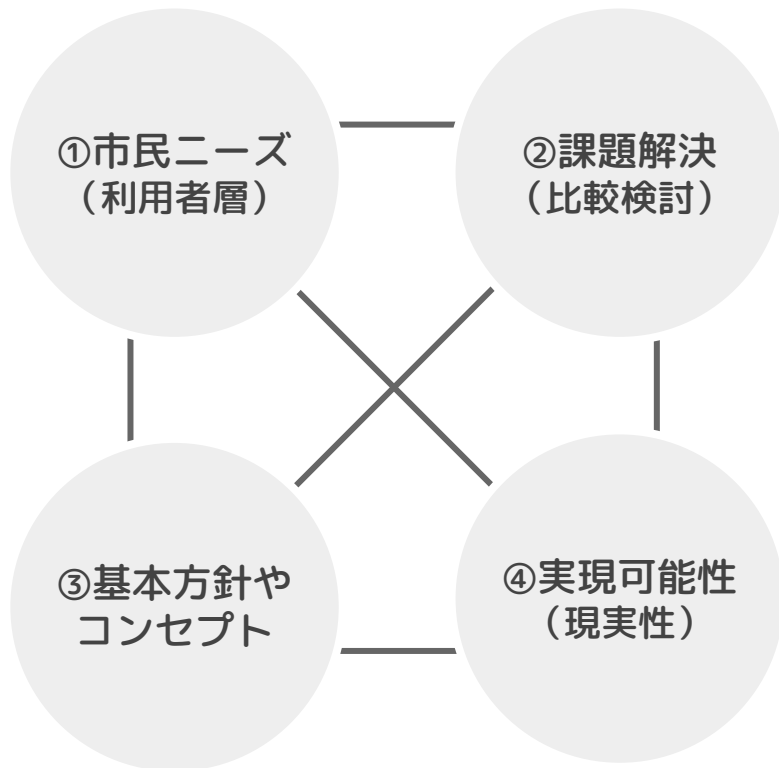


八女市図書館本館サービス構想について

サービス考える上での方針

- サービスを検討するにあたって4つの検討・構想軸がある



サービス考える上での方針

- 以下、3軸のバランスをとりながら、サービスを組み立てたい

①だけだと、施設に一貫性が無くなりやすい。そもそも正反対の意見も多い。

①市民ニーズ
(利用者層)

②だけだと、既存の延長線の規定路線の施設になりやすく、八女市としての個性が弱くなる。

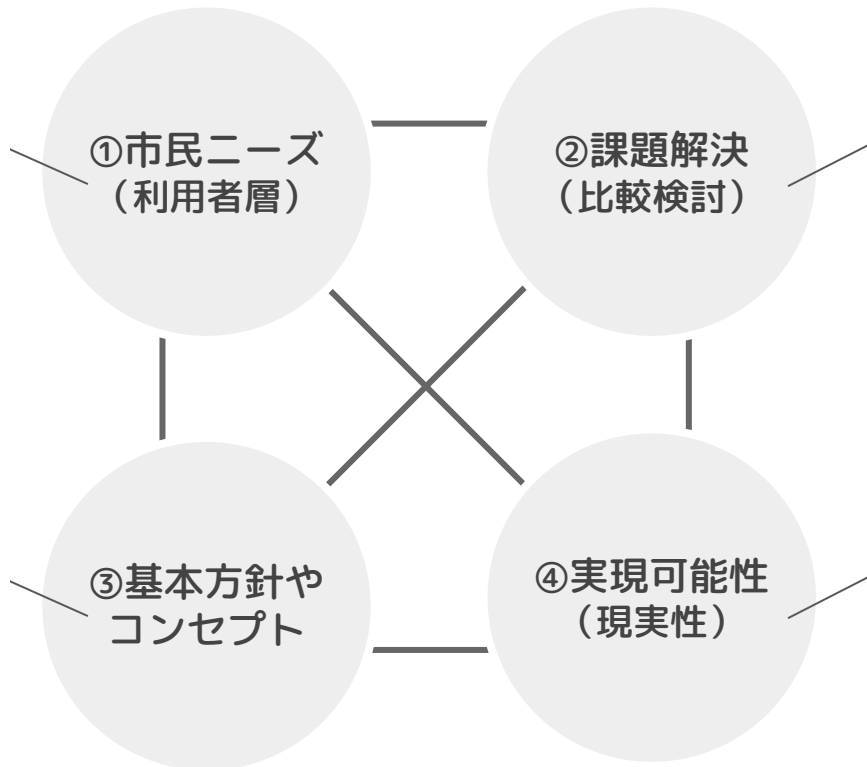
②課題解決
(比較検討)

③だけだと、上から与えられた一方的な施設になり、市民主体性も弱くなる。

③基本方針や
コンセプト

④だけだと、当たり障りがなく、上記同様に八女市としての個性が弱くなる。

④実現可能性
(現実性)



(1) 市民から出た「アイデア」をベースにする

※基本的には市民アンケート（司書アンケート、直接提出されたものを含む）、ワークショップから出たもの

(2) アイデアを基本方針の取組の方向性の「6方針」の枠組みで分類する

(3) アイデアの内容や図書館の基本機能をベースにしながら、6方針に具体的なサービスにつながるような「中分類」をつける

(4) 前述の「①②③④の観点」で、サービスを構想・選定していく

※基本的には①②③をベースに考えて、④を検討していく

前項までの考え方でざっくりとした論点整理をお待ちしています。

本日はこれを議論のスタート地点として、お話しできればと思っています。

(1) (2) アイデアの一覧と6方針観点での分類について

別紙（資料6）ご参照ください。

（事前想定含む563のアイデアをすべて分類しています）

(3) 中分類案について（一般的な図書館の機能と市民アイデアをベースに下記右に分類）

次項より、基本方針の6分類の各中分類をご説明していきます。

(3) 中分類案について（一般的な図書館の機能と市民アイデアをベースに下記右に分類）

1

「へえ～、そうなんだ！」 を増やそう

「人生百年時代」とよばれる長寿命社会において、市民のひとりひとりが満足感のある人生を送るためには生涯学習の充実が必要です。

細分化、多様化された価値観に対応して暮らしのさまざまな分野をテーマとした多彩なプログラムを提供することで市民のくらしの質を高めます。

頭在課題：イベントや企画展示の継続

生涯学習：①八女市

生涯学習：②本を体験

生涯学習：③宇宙

生涯学習：④科学・実験

生涯学習：⑤その他

(3) 中分類案について（一般的な図書館の機能と市民アイデアをベースに下記右に分類）

2 「どうも、ありがとう！」 を増やそう

人口減少、高齢化傾向にある八女市の将来の財政状況を考えると、市民も利用者としてだけでなく図書館の運営に市民も参画し“自分のまちの図書館”として関わり続ける仕組みが必要です。

市民も自分の経験や特技、趣味などを図書館のプログラムに活用するなどの役割を担うことで主体的で張りのある暮らしになります。

市民参加：①意見・提案

市民参加：②ボランティア

市民参加：③講師など

市民参加：④本の紹介

市民参加：⑤その他

(3) 中分類案について（一般的な図書館の機能と市民アイデアをベースに下記右に分類）

3

「なんか、面白そう！」 を増やそう

子どもたちを取り巻くメディアが多様化するなかで、じっくりと時間をかけて自分自身との対話を重ねながら、新たな言葉や知識、考え方と出会う読書は子どもたちの成長に不可欠なものです。

読書を習慣化させ、好奇心を刺激して学びの喜びを体感させる場所をつくることで、将来の大きな夢や希望を育てます。

頭在課題：機能の相互利用（相乗効果）、おはなし室の不足、利用促進

話題・関心喚起

情報発信

地域内他施設連携

イベント

子ども：①読書推進

子ども：②育児支援

子ども：③学校連携

(3) 中分類案について（一般的な図書館の機能と市民アイデアをベースに下記右に分類）

4

「いや～、助かった！」 を増やそう

就職や仕事、家事、健康、人間関係など身の回りの課題を解決するために知識や情報は大変役に立つものです。特に、人的なサービスが乏しい地方部においては図書館が提供する的確なレファレンスサービスやwebサービスが大きな役割を果たします。

図書館はくらしの悩みや不安、不便を解消し、夢や希望を叶えます。

頭在課題：バックヤード作業スペースの不足、バリアフリー等の対応や施設規模の不足、蔵書数の不足、ICタグシステムへの対応

基本サービス：①資料収集（選書）

基本サービス：②レファレンス

基本サービス：③開館日・時間

基本サービス：④その他

全域サービス：①移動図書館

全域サービス：②電子図書館

全域サービス：③分館ネットワーク

全域サービス：④その他

課題解決

バリアフリーサービス

交通アクセス

託児等

その他サービス

5

「まちの記録」

を増やそう

漠然と過ぎていくように感じる時間であっても、私たちが暮らす“まち”はあちこちにその記録を残しています。かつては一方通行であった情報が、**双方向になり市民も情報提供者**となり得る状況です。社会的な大きな出来事だけでなく、**まちかどの小さな出来事や面白い人物**などもまちの記録として未来に伝えます。

顕在課題：歴史ある図書館としての情報発信

アーカイブ・発信

市民創作活動

(3) 中分類案について（一般的な図書館の機能と市民アイデアをベースに下記右に分類）

6

「はあー、ほっとする！」 を増やそう

これまでの図書館といえば、静まり返った館内で読書好きが本とにらめっこしているイメージが強いと思います。

もちろん、**読書をするのに最低限の環境**は必要ですが、図書館が本だけでなく**顔馴染みの仲間と会えたり、家庭とは別のもうひとつの心落ち着く居場所**として市民のくらしに**憩い**を与える存在になりたいと思います。

顕在課題：施設の老朽化、閲覧席・学習スペースの不足、バリアフリー等の対応や施設規模の不足

居場所：①空間づくり・設備

居場所：②交流・憩い

居場所：③世代・目的別

(3) 中分類案について（一般的な図書館の機能と市民アイデアをベースに下記右に分類）

別紙（参考資料）にて、基本方針6分類と「中分類」と市民アイデア数をとりとまとめています。

(4) サービスの構想・選定について

ここまでの話をベースに、次項より1つ1つディスカッションを進められればと思います。

アンケートに考察の通り、「⑥「はあー、ほっとする！」を増やそう」、「④「いや～、助かった！」を増やそう」の重心が大きくなると考えられるため、この2点から順番に資料の説明を展開します。

なお、今回のような計画の段階では、アップデートとなるポイントや特筆点や代表的なサービスをわかるようにすることが、まず重要と考えており、**今回はそれぞれに関わる基本的な考え方と論点を記載**しています。

(4) サービスの構想・選定について：⑥「はあー、ほっとする！」を増やそう

■基本的な考え方

- ・「居場所：①空間づくり・設備」としては、**ゆったり読書ができる居心地の良さ、Wi-Fi環境の整備などの機能面の拡充**とともに、コンセプトも踏まえ、**意匠的にも「新芽」やお茶を中心テーマとした八女らしさを感じられる空間づくり**を検討したい
- ・「居場所：②交流・憩い」の観点として、**八女茶の飲めるスペース（カフェ）**を検討したい。その上で（下記とも関連して）一定規模の**コミュニケーションスペース**を用意
- ・「居場所：③世代・目的別」の通り、**世代・目的別の場所の切り分け**は行う想定。**静と動のゾーニング**を行う（多様な「居」方を許容する場）

■論点

- ・世代・目的別の場所の切り分けについて、施設全体で会話を許容すると同時に静かな仕切られた空間をつくる、あるいは、静かなフロア、賑やかなフロアなど、フロアでゾーニングする方法など、**施設の“音”に関するイメージ**
- ・**カフェのレベルや規模感の実現性**について
- ・居場所と本の関係の整理（「新芽のように。」の解釈では、あらゆる居場所に本があるべきでは？）

(4) サービスの構想・選定について：④「いや～、助かった！」を増やそう

■基本的な考え方

- ・「基本サービス」の観点として、資料収集（選書）は今回の蔵書拡大に合わせ、市民ニーズを踏まえた重点として、**児童向け、若年層向けの本の拡大、専門書の増加**（特に個人では入手の難しい価格の高い本など）について検討したい。
- ・**駐車スペース**の充実は必要と考えられる。（現スペース上の課題）
- ・（特に若年層に向けた）**電子図書館の認知拡大**と利用促進を進める

■論点

- ・**レファレンスサービスの強化の方針**をどのようなテーマで進めるか
- ・集めるべき専門書の方向性について
- ・開館日・時間の延長に対するあるべき姿と現実的な落とし所
- ・（特に小学生向けの）**交通手段の充実**について、どのように考えるべきか
- ・移動図書館、本館・分館との**役割の整理と連携**について、どのように考えるべきか
- ・その他の託児サービスなどに関わる方針について
- ・宅配サービス等の検討について

(4) サービスの構想・選定について：①「へえ～、そうなんだ！」を増やそう

■基本的な考え方

- ・ 図書館として市民の生涯学習を支えるため、様々な情報へアクセスできる機会を提供すると同時に、プログラムやワークショップの実施等、生涯学習強化の重点的なテーマとして、**①八女市、②本を体感、③宇宙、④科学・実験**などのテーマのを置く
(テーマの言葉は後ほど検討)

※生涯学習自体は広義なトピックであり、他の「どうも、ありがとう！」（市民参加）、「まちの記録」（市民創作）などとも関わって、複合的に推し進める領域になる。

■論点

- ・ 上記テーマの実行レベルや方法について
- ・ 上記テーマ以外のテーマ内容について

(4) サービスの構想・選定について：②「どうも、ありがとう！」を増やそう

■基本的な考え方

- ・市民参加の機会を最大化する方向で全体を整備する

■論点

- ・どのように「意見・提案」をする機会をつくるか
- ・どのように「ボランティア」をする機会をつくるか
- ・どのように市民が「講師など」を担当できる機会をつくるか
- ・どのように市民が「本の紹介」に関わることができる機会をつくるか
- ・その他、市民が参画する仕組みに関してどのように考えるか
(ワークショップでは「しおり」をつくるなどのアイデアが出たが)

(4) サービスの構想・選定について：③「なんか、面白そう！」を増やそう

■基本的な考え方

- ・ 普段図書館を利用していない、若い世代を含む人々に「なんか、面白そう！」と感じてもらえるシカケをつくる
- ・ 他方針とも連携して、**子ども向けスペースやサービスの充実**は重点的に進める
- ・ イベントについては現状実施のものをアップデートしていくかたちで、生涯学習とも連携しながら推進する
- ・ **子どもの読書推進**については「[第4次 八女市子どもの読書活動推進計画](#)」に準じて、ブックスタート事業やブックセカンド事業、広報活動や地域連携などを進める

■論点

- ・ 図書館からの情報発信、コミュニケーションや話題化につながるような施策のあり方について（頻度、濃度、注力度）
- ・ 他施設との連携について、どのように考えるべきか
- ・ イベント実施のあり方（頻度、濃度、注力度）

(4) サービスの構想・選定について：⑤「まちの記録」を増やそう

■基本的な考え方

- ・（当然）大前提として「まちの記録」を残していくことを重点的なテーマにする。
その際に、「**本以外**」での記録（アーカイブ）も重視する

■論点

- ・「本以外」での記録（アーカイブ）をどのようにするか
 - > 写真等のデジタルアーカイブについて
 - > その他の展示的なアーカイブについて
- ・「**まちの面白い人物**」に関わる記録をどのように実現するか
- ・前回の委員会も踏まえて、**創作活動スペース等については前向きに検討**したいが、どのような方向感、内容を目指すか